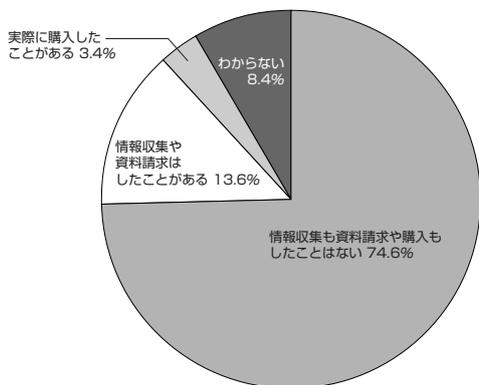


第2章 個人

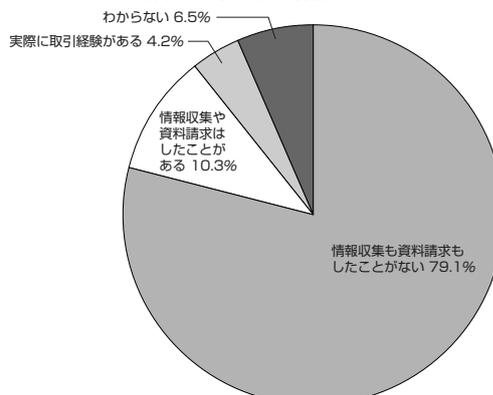
オンライントレーディング/バンキング バンキングの取引経験者は4.2%

資料1-2-21 金融商品取引/トレーディングについて、インターネットでの情報収集、資料請求、取引経験の有無 N=1666



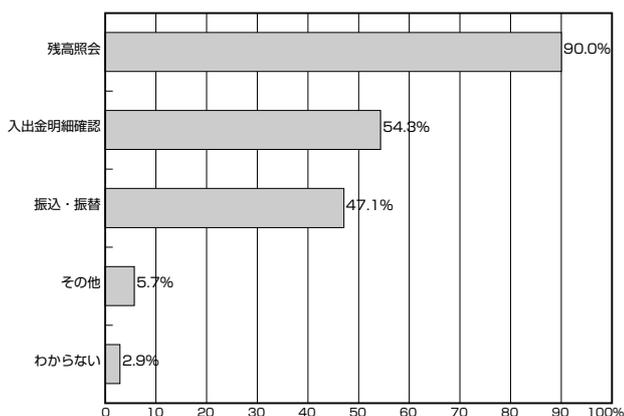
インターネット白書2000 ©インプレス, Access Media International&IAJ, 2000

資料1-2-22 バンキングについて、インターネットでの情報収集、資料請求、取引経験の有無 N=1666



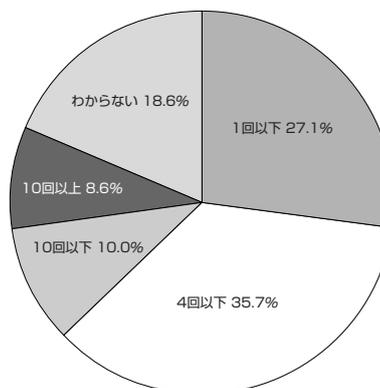
インターネット白書2000 ©インプレス, Access Media International&IAJ, 2000

資料1-2-23 実際に利用したバンキングサービス内容 N=70



インターネット白書2000 ©インプレス, Access Media International&IAJ, 2000

資料1-2-24 インターネットバンキングの1か月の利用頻度 N=70



インターネット白書2000 ©インプレス, Access Media International&IAJ, 2000

解説

ようやく各社が本格的に稼働し始めたオンライントレーディングやバンキングについても今年は詳しく聞いている。

インターネット利用者全体の中で金融商品取引/オンライントレーディングについて、インターネットでの情報収集、資料請求あるいは実際の取引経験を聞いた。実際にオンライン取引、購入したことがある人は3.4%であったが、情報収集や資料請求の経験者は13.6%に上る(資料1-2-21)。

実際の購入者のプロフィールは50代以上の男性がメインとなっているが、情報収集についてもやや男性が上回っており、年代別では60歳以上における関心が高い。(オフラインでの)トレーディング取引経験との相関でインターネットのオンライン購入をみると、やはり通常の(オフライン)トレーディング取引経験がある場合、オンライン購入率が高くなっている。

オンラインバンキングについても同様に実際の取引経験と情報収集について聞いたところ、実際にオンラインでの取引は全体の4.2%が経験しており、情報収集、資料請求も10.3%とオンライントレーディングとほぼ同レベルとなった(資料1-2-22)。また、オンライントレーディング同様、利用者の中心は男性で、特に60歳以上が多い。実際の利用内容は「残高照会」(90.0%)、「入出金明細確認」(54.3%)、「振込・振替」(47.1%)の順に高くなっている(資料1-2-23)。

オンラインバンキング利用経験者の1か月の利用頻度は0回から4回までの合計で全体の62.9%を占め、全般にそれほど頻度が高いとはいえない。しかしながら、一方で「10回以上」という高頻度の利用者も8.6%みられる(資料1-2-24)。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp